

# 坐骨神経痛のはなし

山陰労災病院 整形外科

小畑 哲哉

# 器質的な痛み



## 運動器疾患の痛みの主因は器質的な痛みです。

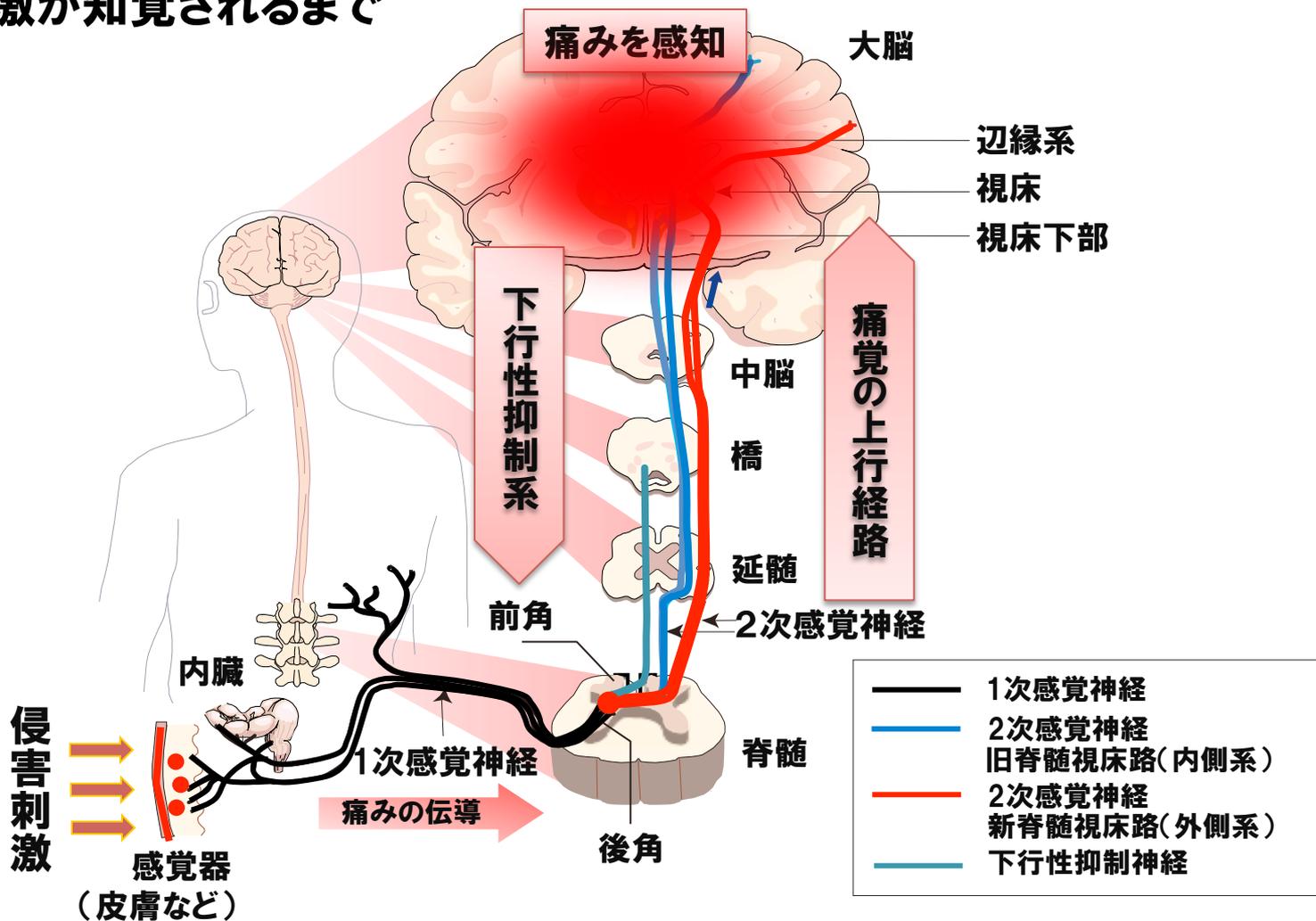
運動器の器質的な痛みとは、整形外科診断でその存在が妥当と判断される痛みのことです。

### 器質的な痛みが含まれる疾患

- 腰部脊柱管狭窄症 ●腰椎椎間板ヘルニア ●胸腰椎圧迫骨折
- 変形性関節症 ●関節リウマチ ●肩関節周囲炎
- 頸肩腕症候群 ●腱・腱鞘炎 ●筋筋膜痛 ●靭帯断裂 ●腱板断裂
- MOB(multiply operated back) ●外傷 ●術後疼痛 等

# 痛みの解剖学的理解

## ■ 侵害刺激が知覚されるまで



# 坐骨神經

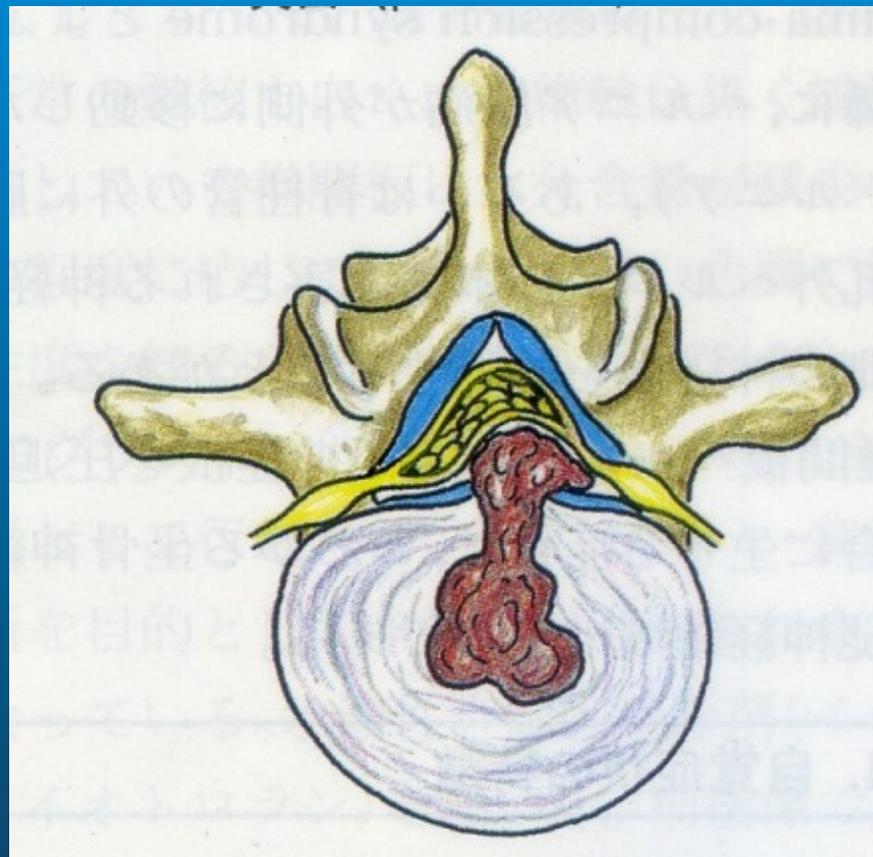
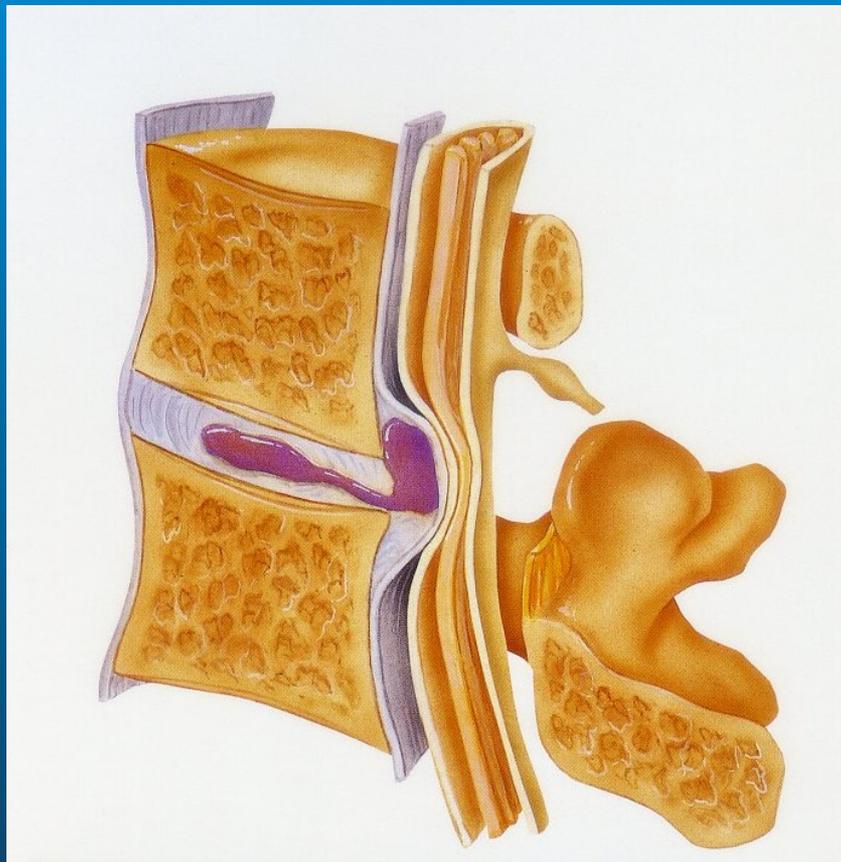




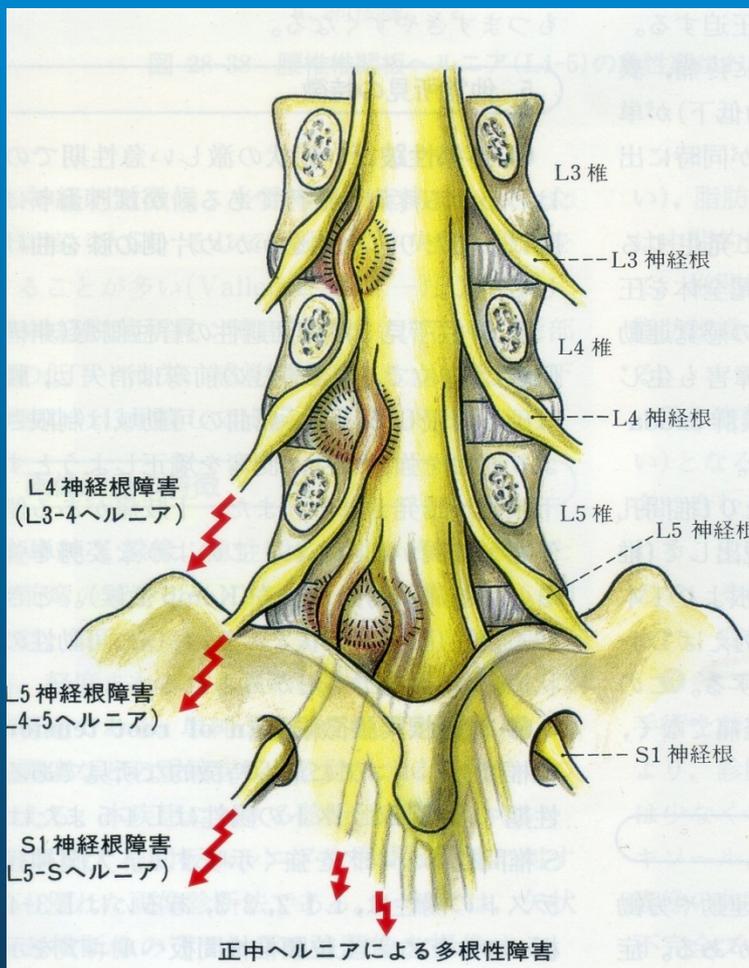
# 坐骨神経痛を起こす主な疾患

- a. 腰椎椎間板ヘルニア
- b. 脊柱管狭窄症
- c. 腰椎すべり症

# 腰椎椎間板ヘルニア

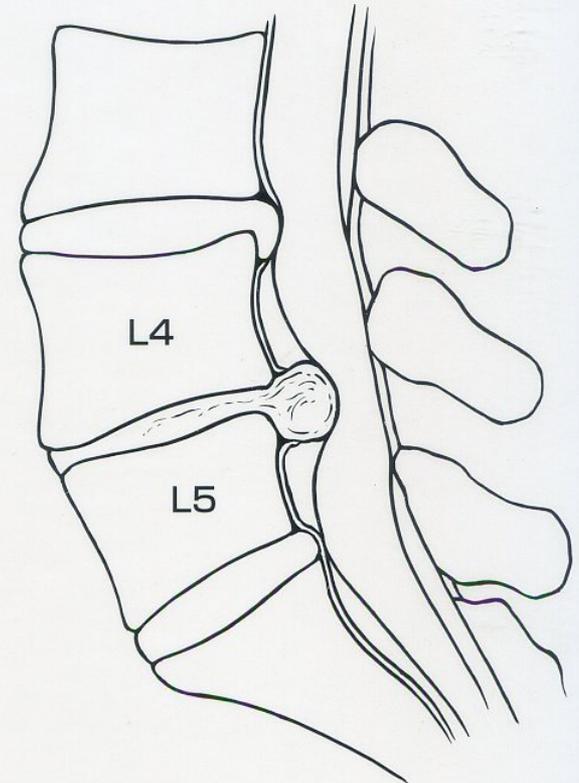
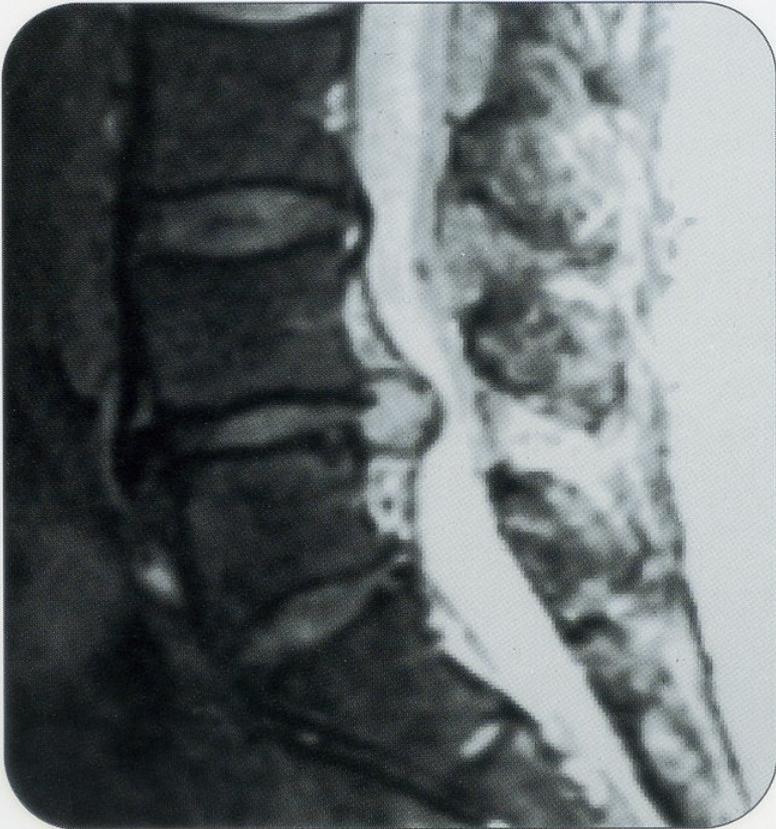


# ヘルニアによる神経圧迫図

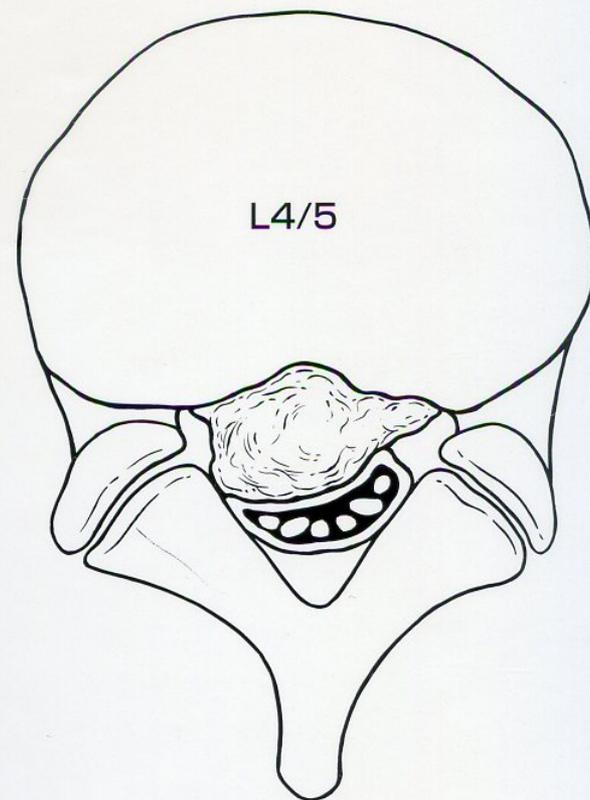


支配神経根	L4	L5	S1
主な責任椎間高位	L3/4	L4/5	L5/S1
深部反射	膝蓋腱反射	—	アキレス腱反射
感覚領域	<p>感覚麻痺</p>		
支配筋	大腿四頭筋	前脛骨筋 長母趾伸筋 長趾伸筋	下腿三頭筋 長母指屈筋 長趾屈筋

# ヘルニア・MRI



# ヘルニア・MRI



# 腰椎椎間板ヘルニアの 自然経過

- ヘルニア塊は身体が吸収していき、  
時間と共に縮小する
- 縮小すれば神経の圧迫が取れて神  
経痛は軽減する。
- その間の痛みが我慢できれば手術し  
なくても自然に改善する

# ※ヘルニアの要注意症状 (手術が必要な症状)

## ① 下肢筋力低下

- ✓ 足に力が入りにくい

## ② 膀胱直腸障害

- ✓ 尿・大便が出にくい
- ✓ 尿意・便意を感じにくくなった



緊急手術が必要

# 腰部脊柱管狭窄症の主な症状

## ① 間欠跛行

長い距離を歩いていると足がだるくなってきた、歩き続けられない

## ② 下肢痛

神経根が圧迫されている場合に生じる

# 坐骨神経痛に対する主な鎮痛薬

1. 非ステロイド性消炎鎮痛剤 (NSAID)
2. アセトアミノフェン
3. 生物組織抽出物 (ノイロトロピン®)
4. プレガバリン (リリカ®)
5. 麻薬類似性鎮痛薬
6. 麻薬性鎮痛薬
7. 補助薬
  - a. 抗うつ薬
  - b. 抗てんかん薬
  - c. 抗不整脈薬
  - d. 漢方薬

# 非ステロイド性消炎鎮痛剤(NSAID)

- もっとも一般的な鎮痛剤
- 炎症物質(シクロオキシゲナーゼ)の産生を阻害し、鎮痛効果を発揮する。
- 副作用
  - ✓ 胃潰瘍 ⇒ 胃薬を併用することが多い
  - ✓ 喘息の誘発
- 胃潰瘍を軽減させるCOX-2阻害薬という改良型も使用されている。
  - モービック®
  - セレコックス®
  - オステラック® 等

# アセトアミノフェン

- 古典的な鎮痛薬
  - 安全性はNSAIDに比べ高い
  - 副作用
    - ✓ 喘息を誘発する恐れがある
    - ✓ 胃潰瘍
- ※いずれもNSAIDsよりは低い

# ノイロトロピン<sup>®</sup>の特徴・用途

- ✓ 効果は若干弱いですが、副作用が少ないので使いやすい。
- ✓ 慢性の疼痛に使用することが多い。

# プレガバリン(リリカ®)

- 元々は抗てんかん薬として開発された。
- てんかん患者に使用しているうちに神経痛にも効果がみられた。
- 脳内の神経接合部の伝達を抑制し、神経の興奮を抑制する。

# プレガバリンの副作用

- 吐き気・嘔吐 ⇒ 制吐剤
- 傾眠
- めまい

※吐き気、嘔吐、傾眠、めまいは内服開始直後に症状が強いが3日間程で体が慣れてきて軽くなる。

# 麻薬類似性鎮痛薬

a. ترامール® (トラマドール)

b. ترامセット®

トラマドールとアセトアミノフェンの配合剤

c. ブプレノルフィン(ノルスパン®)

経皮吸収剤(シール)

# 麻薬類似薬の副作用

- 便秘 ⇒ 緩下剤
- 吐き気・嘔吐 ⇒ 制吐剤
- 傾眠
- めまい
- 呼吸抑制

※吐き気、嘔吐、傾眠、めまいは内服開始直後に症状が強いが3日間程で体が慣れてきて軽くなる。

便秘は改善しにくい

# 麻薬の特徴

- 最も強力な鎮痛薬。
- 従来は癌末期の疼痛抑制に使用されてきたが、慢性の強い疼痛にも適応となった。
- 法律で厳しい管理が義務付けられている。
  - ✓ 使用量、残量の報告
  - ✓ 使用しなかったときは返却しなければならない。
  - ✓ 破損、紛失でも届出が必要。



# まとめ

- 鎮痛薬は、ここ数年で新しいタイプがいくつか発売されており、治療の選択肢が増えている。
- 坐骨神経痛は鎮痛薬などで痛みが我慢できれば手術は必ずしも必要ではない。
- 鎮痛剤の効果は個人差があり、ある薬剤は効かなくても他の薬剤が効くことも多いので、根気よく自分に合う薬を探していくことが必要。